

昭和30～50年代撮影の農作業風景 (左)田植え (下)堆肥を撒く様子



絵と写真に残る 庄内の農耕風景

酒田市立資料館 第226回企画展

令和4年6月25日(土)～9月5日(月) 会期中無休

◆7月31日(日)より一部展示資料を入れ替えます

【開館時間】午前9時～午後4時30分

【入館料】一般200円、高校生90円、小中学生50円(市内小中学生は土日無料)



市原円潭筆「四季農耕図屏風」(部分、明治初期)



五十嵐豊作画「馬耕」

酒田市立資料館

〒998-0046 山形県酒田市一番町8-16

TEL・FAX0234-24-6544

✉ sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp



絵と写真に残る 庄内の農耕風景



農作業時に着用した
刺し子がほどこされた野良着



堆肥を蓄えている「肥にお」が点在する冬の田んぼ(昭和)

庄内平野に豊かな実りをもたらす水田と、そこで農作業をする人々の姿。昭和の写真や、地元の人たちが思い出を振りかえって描いた絵には、稲作の機械化が進む前のふるさとの風景が残っています。

資料館で所蔵している昭和30～50年代撮影のネガフィルムには当時の庄内の稲作の風景や、そこで働く人たちの様子が生き生きと写っています。また、地元の人たちが昭和の頃の思い出を振りかえって描いた油絵や水彩画は、手作業で馬とともに農耕をする様子を温かい筆遣いで伝えています。

昔懐かしい庄内の農耕の風景を記録する資料を紹介します。



庄内の女性が農作業の日焼け止めや虫除けのために顔を覆った「ハンコタンナ」(昭和)



収穫した稲の杭掛け(昭和)

資料館調査員による展示解説

日時／7月23日(土)、30日(土)
午前10時～(各1時間程度)

会場／酒田市立資料館1階企画展示室

料金／無料(入館料別途必要)

定員／各10名

申込／6月25日(土)から受け付け

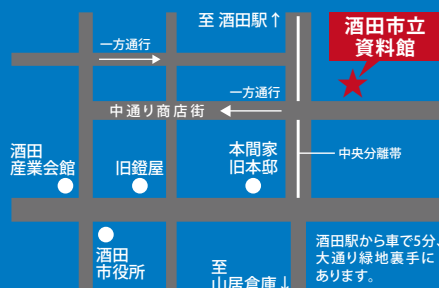
※駐車場に限りがありますので、
申し込み時にお問い合わせください。

お問合せ Tel : 0234-24-6544



五十嵐豊作氏が昭和の鶴渡川原村を描いた油絵
(左)「晴れた日の稲揚げ風景」(右)「農作業着」

酒田市立資料館



〈アクセス〉

- ◆JR酒田駅から庄内交通バス(約9分)「大通り商店街」下車 徒歩1分
- ◆庄内空港からシャトルバス(約30分)「中町」下車徒歩5分
- ◆日本海東北自動車道「酒田中央I.C.」より約10分(駐車場あり)

次回企画展予告

酒田の看板と 広告展(仮)

令和4年9月10日(土)
～11月14日(月)